

語る会委員

自主防災組織は、うちの地区もできましたけど、皆さんの地区は結成後、広報活動とか、勉強会などしていますでしょうか。

語る会委員

活動としては、県外研修に行ったり、リーダー講習会への参加、物部川で行われる南国市防災訓練に順番に参加したりしています。自主防災会組織の役員名簿の中から、何人かをその時に参加してもらった訳ですよ。

津波の話が出ましたが、水準点というか標高の高さというのをぜひ調べてもらって、津波の高さとの関連で、ある程度の目安になるんじゃないかなという気がします。

総務課長

自主防災組織ですが、結成後、リーダーの方に対する研修会も始まりました。訓練や研修会、勉強会などに対する費用も補助金が準備されています。

また、災害弱者のお話もありました。南国市地域防災計画の職員の地域体制に、弱者対策、障害者・高齢者の方たちに対応する部署がありま

せんので、早速この会で得た知識として入れさせていたかどうかのようにしたいと思います。

総務課長補佐

国の基準や県の計画には、避難施設にも弱者対策、障害者対策、高齢者対策を必ずやることという項目が入っています。必ず考えなければならぬようになっております。自主防災組織は、自分たちで年一回訓練をしてくださいとありますが、なかなか難しい面もあります。毎年訓練をやっていたらいいところもあります。

語る会委員

その訓練主体はどこですか。

総務課長補佐

自主防災組織です。

語る会副会長

市では自主防災組織をどれぐらいを目標として作られるつもりでしょうか。それで、今できている52組織結成というのはどういう組織なのでしょうか。

総務課長補佐

多くは部落単位です。

地元に着目した自主防災組織の結成

語る会副会長

できている地域、できていない地域の目安があれば、自分の地域はどうなのかという意識ができると思います。そういうことが一番大事ではないでしょうか。

お金をかけずにできることがあると思います。

総務課長

地図に色分けしまして、名前を書き込んでいるものを次回にお持ちします。

語る会副会長

自主防災組織の結成や防災について公民館とかで半年に一回とか3カ月に一回でもいいので、絶えず足を運んで勉強するということが一番じゃないでしょうか。

市長

市がもっと積極的に地元へ出てきてくださいということですね。机上でいろいろ言わずに、公民館などにきて、呼びかけてくださいということですね。

総務課長

わかりました。そういう説明会を今後実施していきます。

語る会副会長

お金をかけずにできるということは、みんなの心が動くということが一番大事だと思います。

皆さんいろんな意見が出るとは思いますが、もう時間が来ました。資料を持ち帰って次回の話し合いをするというのがよいと思います。

語る会委員

防災はいろんな面があるのですが、お金をかけずにできる大きな防災、これは一人ひとりの防災に対する考え方、取り組み方じゃないでしょうか。

市長

大変貴重なご提案です。自主防災は、自主防災組織の結成を積極的にやっていくことによって、市民の意識を変えていただくということだと思います。ご存じの通り、西南豪雨ですが、人的被害が出なかつたということで、消防団の活動が取り上げられました。「あそこのおばあちゃんが来ていない」「あそこのおばあちゃんはある家のどの部屋で寝ている」など消防団の方がたまたまそこまで分かっています。その人が大月町全域を知っているわけではあり

語る会会長

では、次回は、この資料などによりまして勉強していただき、南国市の防災についていろんな意見や提案を持ち寄ることにして本日の会を終了します。



鶏等家きんを飼育している皆さんへ

*家で飼う鳥の総称

鳥インフルエンザのように感染が爆発的に起こりやすい伝染病は、初動防疫が極めて重要となります。鶏など家きんを飼育している方は、次のことに注意してください。

感染の経路

野鳥、愛玩鳥を含む幅広い鳥類で感染し、糞便中にウイルスを排泄します。この感染した鳥類またはウイルスで汚染された排泄物、エサ、粉塵、水、ハエ、野鳥、人、車両、飼養管理器材（給水器など）との接触により感染します。

感染時の症状

感染時には次のような状況、症状が見られます。

- ・突然の死亡率の上昇
- ・顔面や肉冠、脚部の浮腫・出血斑もしくはうっ血
- ・産卵率の低下もしくは産卵の停止
- ・呼吸器症状・神経症状（首曲がり、元気消失等）
- ・消化器症状（下痢、食欲・飲水の減退）

高病原性鳥インフルエンザとは
鳥類のインフルエンザの中でも特にウイルスの感染を受けた鳥が高率に死亡するものを「高病原性鳥インフルエンザ」と呼んでいます。
なお、この呼称は鳥に対して特に病原性が高いインフルエンザの呼び方で、通常の生活の中で直ちに人に感染し、危険な状態になるものではありません。感染を受けるのは、病鳥と濃密に接触した場合、またはそれらの内臓や排泄物に接触するなどした場合であり、鶏肉や鶏卵を食べることによって感染したという報告は世界的にもありません。

対策

- ・鶏や家きんを毎日観察する。
- ・野鳥などが飼育舎等へ侵入することや鶏および家きんと接触することを防ぐ。
- ・関係者以外の飼育舎等への出入りを制限する。
- ・飼育舎への出入り時または鶏や家きんと接触後の消毒を徹底する。
- ・ネズミやハエ等の駆除を徹底する。

高病原性鳥インフルエンザに対する正しい理解と早期発見、早期連絡

ペットの家きん等も含めて、高病原性鳥インフルエンザの症状を疑う異常が見られた場合には、直ちに家畜保健衛生所または市役所へ連絡してください。

お問い合わせは、東部家畜保健衛生所香長支所 0887-52-3069
または農林課農林振興係 880-6559 まで

人権く共生の時代 ②

人権教育シリーズ

イギリスに滞在していたとき、英会話の先生であるケイトから、日本人の生徒である主婦のAさんが、ぜひ、食事にきてほしい。そのときだけ会話ができるので、という話を聞いた。Aさんの家は日本人同士二人暮らし。夫はしっかりと企業で働いている。もしケイトが行かなければ夕食のとき夫婦の間にはまったく話がないとのことだった。レストランでの食事、夕方の外出等、プライベートの行動はカッパルで、というのが当たり前のイギリスでこの話を聞いたとき、日本の家庭、夫婦がとも痛々しく思えた。

Aさん夫婦は、経済的には恵まれた夫婦といえよう。では、なぜ普段は会話がでないのか？夫は慣れない外国の仕事で疲れている。守秘義務もあるだろう。話す気力をそがれているのかもしれない。でも日がな一日夫の帰りを待つ妻にとつて夫と話ができないことは、丸一日、誰とも話ができないことを意味する。

ドメスティック・バイオレンス（D・V）や虐待の原因の一つに困ったときや思うようにならない

「家族の会話」

ときに言葉などソフトなコミュニケーションがとれず、つい暴言や無視、暴力がでてしまう、ようなことがあるという。

無言の夕食とD・Vは一見関係ないようだがそうでもない。

Aさんの夫は外ではきちんと話のできる社会人である。D・Vで訴えられる人が回りからは信頼されてはいる場合も多い。仕事場では社会人として行動できる人々が家庭内や親しい関係の人とはなかなか良い関係を築けない。これはどうした事だろうか？外で気を遣っているのだから、家ではくつろぎたい。仕事を知らない家族とは話題も途切れる。…そうかもしれない。でも、性も年齢も違う最も大切な妻や家族の人たちと意思疎通ができ楽しめることは、社会人としても最低必要な人間的素養ではないだろうか？

皆がくつろげ、気持ちをほぐすことができる家庭。そうした家庭が増えてくるとは、人権が尊重される社会への第一歩ではないだろうか？

お問い合わせは、
人権広報委員会
880-6569 まで